

給食センター建設の時期は

次期任期中に完成させたい

問 給食センター建設の要望は強い。計画は凍結されたままである。凍結解除の時期は。

佐藤町長 今回の施政方針の後で、次期任期が与えられるなら、その任期中に給食センターを建設する決断を表明した。今後、各種の調整を図りながら事業実施に向け取り組んでいきたい。

問 センター建設までには仮設住宅の集約や設計などの準備が必要である。建設までのスケジュールは。

甲斐谷副町長 31年度中

の建設を目標に町長と詰めていきたい。31年度建設となれば、30年度に発注ということになる。そのためには、28・29年度にはいろいろ調整を図りながら環境整備をしていくことになる。



給食センターの早期建設が望まれます
(写真は議員視察研修先の種市学校給食センター)



田村剛一議員
(未来クラブ)

NPO問題 一審判決への見解は

民事裁判にも影響する

問 NPO元代表岡田被告に対し懲役6年の判決が出された。今回の判決と民事裁判の行方についての見解は。

町長 懲役6年の実刑判決は軽いものではない。

民事裁判については、被告側に代理人が選出されていらないことから、手続きが停滞している。

問 6億7千万円の損害賠償を求める民事裁判は極めて重要。審理を進め、早く結論を出してほしい。この民事裁判で町民の証人尋問はあるか。

倉本総務課主幹 被告の代理人が未定であることと刑事裁判の控訴審が始まることから、民事裁判の再開については裁判所の判断を待つしかない。証人尋問の有無についても裁判所の判断次第である。

中学生の学力・生活心配ないか

全体的に落ち着いている

問 中学生の段階は人間形成において重要な時期である。学習定着度、生活行動に心配するようなことはないか。

佐々木教育長 学力テストの結果は全体的に県平均を下回っているが、学校によっては良好な成績をおさめている教科もある。学力定着に向けては、教育研究所の活動を通じて図っていく。

一部で授業に参加できなかったり、問題行動を起こしたりする生徒はいるが、全体的には落ち着いた生活を送っている。

問 生徒指導が大変という声も聞くので、情報を共有しながらの対応が必要では。

教育長 生徒の生活環境もさまざまであり、情報を共有しながら指導して

生活行動については、

その他の質問

- ◆人口減・少子化対策を
- ◆御蔵山を蔚霊の丘に
- ◆住環境の整備促進を
- ◆漁業後継者の育成策を
- ◆公共下水道の供用開始はいつか